

ニューバースパイルII

信頼と実績が生む 回転貫入鋼管杭

多くの建築現場と、実験で
実証された高性能を、
安全で、経済的に、確実に提供します。

(財)日本建築総合試験所

建築技術性能証明

スウェーデン式サウンディング調査で
建築技術性能証明を取得



幅広いニーズに対応します

高支持力

多くの施工実績から生まれた独自の先端拡底羽根

建柱車で施工可能

環境に配慮

施工機械はコンパクトで低騒音・低振動。
水質汚染や土壌汚染の心配が無く残土も出ません

経済設計

バリエーション豊富であるため、
地盤、建物に応じた設計が可能

安全設計

室内、施工試験により杭の安全性を検証

確実な施工管理

ニューバースパイルⅡ



杭の長期許容鉛直支持力

$$Ra = \frac{1}{3} \{ \alpha_{sw} \cdot \bar{N}' \cdot Ap + (\beta_{sw} \cdot \bar{N}'_s \cdot L_s + \gamma_{sw} \cdot \bar{N}'_c \cdot L_c) \varphi \} \text{ (kN)}$$

\bar{N}' : スウェーデン式サウンディングによる換算N値

α_{sw} : 杭先端支持力係数

砂質土地盤(礫質土地盤を含む)、 $\alpha_{sw} = 280 (6.5 \leq \bar{N}' \leq 25)$
 粘性土地盤、 $\alpha_{sw} = 280 (3.5 \leq \bar{N}' \leq 25)$

β_{sw} : 砂質土地盤における周面摩擦に関する支持力係数 $\beta_{sw} = 1.2$

γ_{sw} : 粘性土地盤における周面摩擦に関する支持力係数 $\gamma_{sw} = 1.4$

\bar{N}' : 杭の先端付近の N' の平均値

Ap : 杭先端の有効断面積 (m^2)

$$Ap = \pi D^2 / 4 + 0.43 \pi (D_w^2 - D^2) / 4$$

\bar{N}'_s : 杭の周囲の地盤のうち砂質土に接する部分の N' の平均値

\bar{N}'_c : 杭の周囲の地盤のうち粘性土に接する部分の N' の平均値

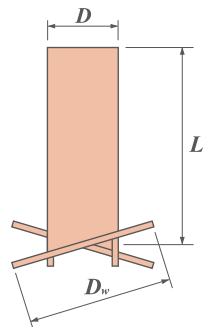
L_s : 杭の周囲の地盤のうち砂質土に接する長さの合計 (m)

L_c : 杭の周囲の地盤のうち粘性土に接する長さの合計 (m)

φ : 杭本体軸部の周長 (m)

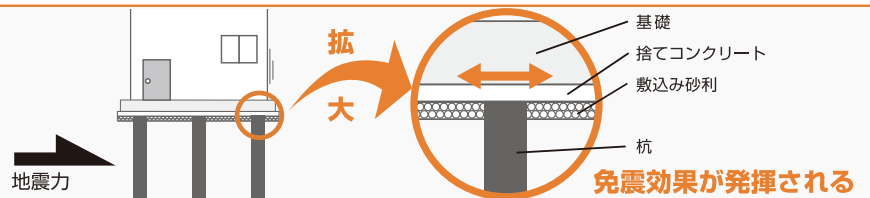
標準寸法

軸部の杭径 D (mm)	76.3	89.1	101.6	114.3	139.8	165.2	190.7
拡底羽根径 D_w (mm)	200	200	250	250	300	400	400
		250	300	300	400	460	460



杭頭処理の例

地震力に対して杭と基礎の縁を切ること
 で免震効果が発揮される場合があります。



建築技術性能証明取得会社
 株式会社 新生工務

本 社 〒463-0013 愛知県名古屋市守山区小幡中1丁目8番17号
 TEL: 052-758-1750 FAX: 052-758-1751
 URL http://www.shinseikomu.co.jp

(株)渡辺組 地盤改良事業部 ハイスピードいわき
 〒972-8318 福島県いわき市常磐関船町1丁目7-14
 Tel. 0246-43-6800 fax. 0246-43-6075
 URL http://www.wacon21.co.jp/hyspeed/



Instagram始めました!

